



3月10日・11日の2日間、全国のローターアクトが一堂に会し、新潟市「朱鷺メッセ」で研修会が開催されました。



ガバナー月信
2012.04.01

Vol. 10

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2	村松 RC 創立 50 周年	8
ロータリー雑誌月間	3	新潟北 RC 創立 35 周年	8
クラブ会長エレクト研修セミナー	4	新入会員・物故会員報告	9
米山記念奨学生修了式・歓送会	5	出席報告	
全国ローターアクト研修会	6	ハイライトよねやま / 文庫通信	
社会奉仕委員会セミナー	7		

石本ガバナー事務所 〒951-8053 新潟市中央区川端町2丁目12 2階 TEL: 025-201-7802

国際ロータリー第2560地区 2011-2012 年度ガバナー: 石本 隆太郎

4 月は雑誌月間

ロータリーの情報源として 「ロータリーの友」を活用しよう！



ガバナー 石本隆太郎

「ロータリーの友 4月号」の表紙を飾っている写真は、徳川家康公生誕の地として知られる、愛知県岡崎市の伊賀八幡宮の南側を流れる伊賀川の桜並木とのことです。

新潟県内にも桜の名所は数多くありますが、今年の春は、お彼岸を過ぎても寒い日が続いており、桜の開花時期が遅れるのではと気がかりな毎日です。というのも新潟市内の信濃川兩岸の桜並木もなかなかのもので、願わくは、4月21日～22日に開催予定の地区大会に合わせて、見頃となることを期待しているからです。

4月ともなると、事業年度で言えば「第四・四半期」。ガバナーにとっても、クラブ会長にとっても、年度の締めくくりの準備段階に入るとともに、2月のPETSに引き続き、5月には地区協議会が予定されており、新旧引き継ぎの大切な時期でもあります。

昨年3月11日の東日本大震災から1年余り経過しましたが、現地では瓦礫の整理が進んだ程度で、本格的な復興事業はまだまだ先の事です。福島原発にしても、小康状態に入ったかに見えますが、周辺住民の皆さんが帰宅できる見通しも立たず、昔の幸せな生活を取り戻すには、どれだけの年月を要するのか見当もつきません。

こうした中で、「ロータリーの友 4月号」に、東日本震災復興基金日本委員会からの報告が掲載されておりましたが、2月末までに、東日本復興基金には730万ドルを超える寄付金が集まり、200件を超えるプロジェクトの中から124件が承認され、総額557万ドルの資金が支出されたとのことで、迅速な奉仕活動にかかわられた皆様に、心から拍手をお送りいたします。

その中の一つ、新発田城南RCの東北大震災支援特別プロジェクトチームの活動状況も紹介されておりましたが、陸前高田RCの情報等を基に現地の状況を入念に調査した上で、「この春、新1年生の保護者に負担のかかる学用品（鍵盤ハーモニカ、クレパスと絵具セットを各160個。9小学校の合同会議用デスクを15セット）を贈呈する」という奉仕活動は、今年度の当地区の「意義ある業績賞」として、RIに申請することが決定いたしました。

今回、地区内よりエントリーされた奉仕活動は、いずれも素晴らしいものでありましたが、評価の決め手となったのは、会員自らが現地に赴き、現地ロータリークラブ会員や、行政当局者の報告・要請を基にして、会員の寄付やニコニコ・ボックスから資金を捻出し、不足分を補うため東日本震災復興基金日本委員会への補助金申請を試み、2月の陸前高田市全校長会で目録贈呈したことが、現地マスコミに大きく取り上げられたという、まさに①調査、②分析、③企画、④行動、⑤評価の「社会奉仕活動・5サイクル」の模範的事例であったからであります。

「ロータリーの友」には、世界中の奉仕活動の事例が山ほど掲載されています。皆さんにとっての「奉仕活動の情報源」としてご活用下さることを祈念いたします。



雑誌月間について

ロータリーの友地区代表委員 宮田 康雄(柏崎RC)

今皆さんが目にしているこのガバナー月信は地区ガバナーが地区内クラブ会長幹事宛にお送りする親書的文書で、雑誌月間で言う雑誌は「ロータリーの友」を意味します。

「ロータリーの友」は日本が2地区に分割されることを契機に、分割される東西両地区の繋がりをそれ以降も保ち続けるための機関紙として、1953年1月に創刊されました。

爾来半世紀以上の永きに亘り、横組み一辺倒の時代から縦横混在組みの時代を経て、1972年1月号から現在の様な縦横分割組みになって久しくなります。

1972年にはRIに「広域地域雑誌」の規定が設けられ、「ロータリーの友」も1980年7月号から世界30誌の一つとして地域雑誌として位置づけられるようになりました。

「ロータリーの友」はロータリアンにとっての機関紙であり情報誌ですのでロータリアンにとっての定期的継続的購読は、会員としての義務となります。

したがって「ロータリーの友」はロータリー活動を外部に伝える広報誌ではなく、外部広報誌は新会員勧誘用の「あなたも新しい風に」など、別途用意されています。

もちろんだからと言って会員外の閲覧を否定するものではなく、そういった活用の方法を拒むものでもありませんが、それ以前に、ロータリアンお一人お一人が「ロータリーの友」をより深く読み込んで、何かを感じていただくことを願い、編集されています。

心の琴線に触れる心温まる話のほか、「友愛の広場」や「同論異論」のページなど、ロータリアン同士の議論・交流の場も多く用意されていますので、地区会員各位の「ロータリーの友」の更なる有効活用を、雑誌月間にあたり改めて強く期待するところです。

クラブ会長エレクト研修セミナーの報告



国際ロータリー第 2560 地区 2012～2013 年度
PETS実行委員長 岸 洋助(長岡RC)

去る 2 月 25 日 (土)、長岡ロータリークラブのホストのもと、長岡グランドホテルにおいて鈴木重壺ガバナーエレクト年度のクラブ会長エレクト研修セミナーが開催されました。

当日は大変な豪雪のなか、朝早くから、石本ガバナーをはじめパストガバナー、ガバナー補佐、地区役員、地区内 57 クラブの会長

エレクト、幹事エレクトの皆様他、170 余名のご参加を頂きました。誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

鈴木重壺ガバナーエレクトは 1 月にサンディエゴで開催された国際協議会の報告と鈴木年度の方針を熱く語られました。長岡市の栃尾出身の田中作次 R I 会長エレクトの掲げられるテーマ「奉仕を通じて 平和を」と、鈴木ガバナーエレクトが地区のモットーとして掲げた「恕を以て和を為す」が同軸の理念であることが確認され、「地元出身の R I 会長の年度である現実を前に、地区のあらゆる活動を通じてその実現を図ろうではありませんか」と参加者に訴えられました。

東山昕也地区研修リーダーは、会長セミナーにおいて、「変動期におけるクラブ活性化を考える」をテーマにリーダーとしての心得を紹介されました。他各分科会も意義深いセミナー、懇談会が行われ、最後に地区内の各クラブの交流を深める和やかな懇親会が催されました。

各クラブの会長エレクトが次年度の会長となる準備を整えられることに少しでもお役に立てたのであれば幸いです。



石本年度 米山記念奨学生終了式・歓送会



米山奨学委員会 奨学生・学友委員長 中村 紘一(柏崎中央RC)

今年も大勢の参加者を迎え、石本ガバナー、植木パストガバナー、詹学友会会長、カウンセラー、指導教師、学友、委員長、委員など、67名の参加を頂き、米山奨学生の卒業式典が開かれました。式典では石本ガバナー、詹学友会会長の挨拶で始まり、卒業生の数人は、民族衣装を身にまとい参加、一人ずつ

石本ガバナーから終了証書を手渡され、又、カウンセラーには感謝状が送られ、無事式典を終了することができました。

式典後、植木パストガバナーの挨拶と乾杯の音頭で懇親会が始まり、やがて、詹会長の音頭で、卒業生が抱負を述べる、歌を歌う、踊りを踊る等、一時を楽しく過ごしてもらえたようです。中締めには新保委員長の挨拶と「手に手つないで」で締めくくり散会しました。

最後になりましたが、終了生の皆さんおめでとうございます。これからも皆さんとロータリアンとの絆をますます深めていただきたいと思います。良いことがあったとき、うまく行かないこと、困ったこと、何かあるときはロータリーへ顔を出しましょう、米山奨学生制度は日本だけですが、ロータリアンは世界中にいます。



第 24 回全国ローターアクト研修会

全国ローターアクト研修会顧問 小山 直樹(白根RC)

第 24 回全国ローターアクト研修会が 3 月 10 日～11 日の 2 日間に亘って朱鷺メッセをメイン会場に当地区のローターアクト全員が丸山実行委員長を中心に築きあげ、無事開催する事ができました。



この研修会は地区間のより良い関係を築き、お互いの活動に関する建設的な意見交換や情報交換を行い発展に努めるための機会として開催されるものです。

開催内容はテーマを「共栄」ー共に学び、共に感じ、共に栄えるーとし、開会式の後、地区代表部門、幹事部門、ロータリー部門の 3 つの部門に分かれて代表者会議が行われました。地区代表部門においては次期開催地区の決定承認等、幹事部門では地区間のより良い連絡方法の検討や協力体制につ

いて、ロータリー部門においては 2 部に区切って行い、第 1 部は渡辺敏彦パストガバナーより「新世代奉仕のプログラムと若者の育成」という演題で講演をしていただき、第 2 部はグループに別れてグループディスカッションを行いました。グループディスカッションでは各地区とも関心がある事項であった為か内容の濃い話し合いとなり、今後の参考となる良い回答を得ることができました。

また、同時に一般研修部門もあり、他地区の人達に新潟をよりよく知ってもらうために酒蔵見学や工場見学、食文化体験、芸術文化体験、歴史探訪などの研修が行われました。



今回は当地区にとって初めての開催であり、震災後の影響も懸念されましたが、日本全国 33 地区のローターアクトとロータリアンの大勢の方々より参加登録をいただくことが出来ました。

この度の全国研修会にあたり、ご参加ご協力いただいた皆様に心より感謝を申し上げますと伴に、今後のローターアクトの活動をはじめ新世代奉仕に更なるご理解とご協力をお願いしまして報告とさせていただきます。ありがとうございました。



今、日本に求められている事 ～社会奉仕委員会セミナー報告～

社会奉仕委員会 委員長 板東秀行(長岡東RC)



本年度の社会奉仕委員会セミナーは、2月の24日に長岡市内の「まちなかキャンパス長岡」で開催されました。6年ぶりの豪雪の中でしたが、当日は石本ガバナ―、鈴木ガバナ―エレクトはじめ35名のご参加をいただきました。

2011年は東日本大震災に始まり、夏の集中豪雨、そしてこの冬の豪雪と自然災害が相次いだ年でもありました。とりわけ、震災の揺れと津波さらには福島第一原発被害が重なった大震災は、文字通り未曾有の出来事でありました。それを踏まえて、今回のセミナーには震災地の現場で支援活動に当たられた、長岡国際交流センターの羽賀友信先生（センター長）をお招きし、今後のロータリークラブの社会奉仕活動として目指す方向を考える上でのポイントをお話いただきました。

羽賀先生は30歳頃からJICAに参加され、2008年には理事長表彰も受けられている国際交流や国際支援活動のスペシャリスト、中越地震や中越沖地震でも外国人被災者の支援活動に当たられました。今回の大震災でも、長岡市で市民団体が立ち上げたボランティアバックアップセンターのセンター長に就任、3週間後には被災地に入られました。仙台市ではドイツ人ロータリアン家族の帰国支援にも尽力され、そのおかげでドイツのロータリークラブにその状況が正しく伝えられたそうです。

震災から1年、しかしその復興には大変長い年月がかかります。社会奉仕の理念に基づいた活動も、地域のニーズに合った息の長い活動が求められます。その活動を支えるファシリテーターの育成や地域雇用の創出、NPOなどの支援、それをロータリーのネットワーク活用という形で実現していくことなど、よりポジティブな志向で「できること」に取り組んでいきたいものです。



創立50周年記念式典を終えて

村松ロータリークラブ 会長 木村 晃



去る 3 月 18 日村松ロータリークラブ創立 50 周年記念式典を無事挙げる事ができました。伊藤五泉市長様、石本地区ガバナー様をはじめ各界の皆様、地区役員又県内ロータリアン各位、村松インターアクトクラブの学生と多くの方々によりご臨席賜り誠にありがとうございました。

質素かつ心温まる式典をモットーに会員一同、いくつもの仕事を担当し頑張っ頂き頭の下がる思いでいっぱいでありました。また、インターアクトクラブの会員も地区大会の経験を積み、立派に仕事をこなしてくれた事に安堵しております。

50 年前のチャーターナイトの時は、当時県内に 2 台しかなかったエレクトーンの演奏で会場いっぱいに華やかな雰囲気をかもし出したと聞いております。

今回は、記念アトラクションとして、コーラスアンサンブル「はも〜る・ぼこ」によるヒットメドレーで心温まるハーモニーをお楽しみいただけたものと確信しております。

今後共 ロータリー活動に励み、会員の増強をめざしていきたいと思っております。何かと不行き届きの点もあったかと思いますが、ロータリーの友情に免じてご容赦いただきたいと思います。御出席いただいた皆様、関係各位の皆様に深く感謝申し上げます。



新潟北 RC 創立 35 周年記念例会 顛末記

新潟北ロータリークラブ 会長 藤田 義幸



過ぐる 3 月 18 日、親クラブ新潟東 RC、姉妹クラブ韓国ソウル冠岳 RC、友好クラブ前橋北 RC、子クラブ新潟中央 RC、当クラブが日頃支援させて頂いているゲスト団体、当クラブ会員とその奥様方など、100 名余りが一同に会し賑々しく 35 周年記念例会を開催させていただいた。

当初、周年事業は 10 年区切りとで考えていた為、35 周年はただ 1 人のチャーターメンバーの若山実行委員長とも相談し、ご夫人方を招いてささやかに記念例会を開催との思惑で、せめて祝電でもいただければと姉妹クラブの韓国ソウル冠岳 RC の会長宛にメールを送ったのが年明けの 1 月上旬。

そしたら、前 R I 理事で 3640 地区の PG も勤められた金夫妻を筆頭に、会長並びに幹事を含め 12 名が記念例会に併せて来港されるという。おまけに記念事業として、3640 地区・冠岳 RC と 2560 地区・新潟北 RC とで計 \$ 11,000 に R I 本部からの \$ 11,000 で、合計 \$ 22,000 のマッチング・グラントの調印式を当日やろうとの提案。

短期間での書類往復の後、無事締結にこぎつけた。これも偏に石本ガバナー並びに中條地区財団委員長のお蔭と感謝している次第である。来港した冠岳 RC との連夜の交流の後、慌しく迎えた当日であったが、盛会裡に終える事が出来、改めてロータリーの友情にまだ感激の余韻が冷めやらぬ日を送っている。



新 入 会 員

宮島 偉

新発田 RC
 入会日:2012 年 2 月 20 日
 会社名:宮島石油販売(株)
 役職:代表取締役
 職業分類:石油類販売

家井 定一

豊栄 RC
 入会日:2012 年 3 月 6 日
 会社名:(株)いえい
 役職:代表取締役会長
 職業分類:菓子製造業

山崎 研一

佐渡南 RC
 入会日:2012 年 3 月 1 日
 会社名:(株)ユアテック佐渡営業所
 役職:所長
 職業分類:電気工事

若林 謙次

佐渡南 RC
 入会日:2012 年 3 月 1 日
 会社名:若林鉄工所
 役職:代表取締役
 職業分類:鉄工業

米山 孝之

長岡 RC
 入会日:2012 年 3 月 6 日
 会社名:三島法律事務所
 職業分類:弁護士

荻野 洋明

小千谷 RC
 入会日:2012 年 2 月 16 日
 会社名:(株)荻野塗装
 役職:代表取締役
 職業分類:塗装業

4月 地区の予定 ～～雑誌月間～～

2012 年 4 月		地 区 主 要 行 事	会 場
7	(土)	米山カウンセラー研修会	万代シルバーホテル
13	(金)	地区大会記念ゴルフ大会	紫雲ゴルフ倶楽部
27-28	(金-土)	インターアクト海外受入交流 (2840 地区共同事業)	伊勢崎市立伊勢崎高等学校
21	(土)	職業奉仕委員会セミナー	ホテルオークラ新潟
21	(土)	石本年度 R I 会長代理歓迎晩餐会	ホテルオークラ新潟
22	(日)	石本年度第 2560 地区地区大会	ANA クラウンプラザホテル新潟

第2560地区 2011-12年度 2月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会 員 数			
			7月1日 現在	2月末 会員数	うち女性	増減
第1分区分(9クラブ)	／	87.13	332	340	31	8
新発田	4	99.68	79	81	0	2
村上	4	78.57	35	35	6	0
水原	5	75.20	21	25	1	4
中条	4	91.13	35	31	2	-4
新発田城南	4	90.24	44	46	6	2
豊栄	4	94.31	21	22	4	1
新発田中央	4	85.71	46	49	4	3
中条胎内	4	81.25	28	28	4	0
村上岩船	4	88.04	23	23	4	0
第2分区分(9クラブ)	／	83.82	392	411	23	19
新潟	4	86.27	77	87	0	10
新潟東	4	91.39	54	57	5	3
新潟南	5	85.36	71	76	0	5
佐渡	3	73.00	14	15	0	1
新潟西	4	78.79	34	33	1	-1
佐渡南	4	85.64	44	44	6	0
新潟北	4	88.37	36	37	0	1
新潟中央	4	87.90	22	23	2	1
新潟万代	4	77.63	40	39	9	-1
第3分区分(6クラブ)	／	75.01	148	149	6	1
新津	4	72.00	25	25	0	0
村松	4	83.34	7	9	0	2
五泉	4	85.00	22	22	2	0
白根	4	88.00	49	50	2	1
新津中央	4	75.01	35	33	1	-2
阿賀野川ライン	3	46.70	10	10	1	0
第4分区分(11クラブ)	／	76.86	372	375	21	3
三条	5	82.34	52	56	0	4
燕	4	66.64	26	26	0	0
加茂	4	70.39	38	38	5	0
三条南	3	83.99	48	46	0	-2
分水	4	93.55	32	30	2	-2
見附	4	72.00	16	18	1	2
吉田	4	85.30	37	37	3	0
三条北	4	78.57	66	70	4	4
巻	4	76.70	14	14	0	0
田上あじさい	4	66.60	5	6	1	1
三条東	4	69.36	38	34	5	-4

R C	例会数	出席率	会 員 数			
			7月1日 現在	2月末 会員数	うち女性	増減
第5分區(7クラブ)		89.82	297	312	30	15
長岡	4	94.80	41	45	2	4
柏崎	5	85.22	44	46	0	2
長岡東	4	86.60	68	66	6	-2
柏崎東	4	98.34	43	45	3	2
栃尾	4	80.43	22	23	0	1
長岡西	4	84.53	38	44	5	6
柏崎中央	4	98.84	41	43	14	2
第6分區(6クラブ)		84.18	149	154	9	5
十日町	4	94.00	32	34	0	2
小千谷	4	85.74	33	39	4	6
雪国魚沼	4	72.00	22	20	1	-2
十日町北	5	94.78	25	23	2	-2
津南	4	83.65	25	26	2	1
越後魚沼	4	74.90	12	12	0	0
第7分區(9クラブ)		78.95	319	322	21	3
高田	4	83.59	69	67	1	-2
直江津	4	81.88	44	44	2	0
新井	4	63.97	33	34	2	1
糸魚川	4	74.12	36	36	1	0
妙高高原	3	87.00	6	5	0	-1
高田東	4	76.35	36	37	2	1
糸魚川中央	4	77.08	36	36	0	0
頸北	4	88.20	16	17	1	1
越後春日山	4	78.33	43	46	12	3

クラブ数	57	クラブ
7月1日 会員数	2,009	人
2月末 会員数	2,063	人
女性会員数	141	人
純増減会員数	54	人
当月平均出席率	82.08	%



ハイライトよねやま144

1 寄付金速報 — 下半期の寄付状況 —

2月までの寄付金は前年同期と比べて2.4%減、約2,500万円減少の10億2,900万円となりました。普通寄付金が1.8%減、特別寄付金が2.7%減でした。普通寄付金の納入が1月末時点で前年度比274クラブ減と、入金が遅れが心配されましたが、2月末時点には前年度比122クラブ減となり、出足は遅いながらも、少しずつ入金状況が回復しつつあります。

震災から丸1年、被災地はもとより、その他の地域も経済状況等の厳しさが続きますが、今後とも引き続きご支援ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2 理事会開催報告 — 2013 学年度は 700 人に —

公益財団法人に移行してから最初の理事会（2011 年度第 1 回）が 3 月 6 日（火）東京プリンスホテル（東京都港区）にて開催されました。



全国から 31 人の理事と 3 人の監事が出席。板橋敏雄理事長の進行のもと、1 月 3 日までの特例民法法人としての事業報告・決算と、1 月 4 日以降の 2011 年度事業計画・収支予算がそれぞれ原案通りに承認されました。また、2013 学年度奨学生採用数については、厳しい寄付金状況を鑑み、800 人から 700 人に削減する原案に対し、「1 人でも多く支援したい」「10 人でも 20 人でも可能な限り、上乘せできないか」などの意見も出され議論されましたが、寄付金状況に見合った採用数として、2013 学年度は 700 人とする事が決議されました。

3 バンコクで“米山ナイト”に参加しませんか？

5 月 6～9 日に開催されるタイ・バンコク国際大会期間中に、海外 4 番目となる米山学友会がタイで設立されることになりました。5 月 6 日夜に創立総会を兼ねた「米山ナイト」を下記の通り開催します。

実は、米山奨学生第 1 号はタイのソムチャードさんという方です（米山奨学会の前身「米山基金」の支援で来日）。60 年の時を経て、学友会が設立されるに至ったその瞬間を、ぜひ皆さまに見ていただき、タイの学友にエールを贈っていただければ幸いです。当日はスペシャルゲストの登場があるかもしれません！

また、今回の国際大会では「友愛の家」に米山記念奨学会がブース出展します（ブース No.102）。タイの米山学友が皆さまをお迎えしますので、期間中、ぜひお立ち寄りください。



★ 米山ナイト ★

日時：5 月 6 日（日）午後 5 時半～19 時半

場所：ロイヤルオーキッドシェラトン 2 階 ポンパドゥール

会費：5,000 円

詳細・お申し込みは当会ホームページをご覧ください。登録締め切り 4 月 16 日まで。

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

4 被災地の学生として何ができるのかー奨学生からの便りー

宮城大学で情報デザイン学を学ぶベトナム出身の米山奨学生、グエン・トウン・ヴァンさん（2011-13 / 仙台西RC）が、「被災地の学生として何ができるのか」との思いで取り組んだという、この1年間の活動を報告してくれました。



夏休みに友達と石巻市でのボランティア活動に参加しました。実際に訪れた現地の状況は、テレビで見るよりもっと大変でした。全国から集まったボランティアの人々と共にがれきを片づけたほか、親を亡くした子供たちと一緒に絵描きをしたり、仮設住宅の方々と料理を作ったりして、心の繋がりを強く感じました。被災者の方から悲しい話を聞いて、あらためて被害の大きさ、怖さを知るとともに、皆さんからは「話を聞いてくれるだけでも心が落ち着いた」と声をかけていただきました。

震災をきっかけに参加したアジア太平洋学生起業家会議では、東北地方の学生として、復興支援ボランティア体験と心のケアの大切さを訴えました。仮設住宅のコミュニケーション不足や断熱性の低い建物構造などの問題をどうすれば解決できるのか、海外からの学生やスタッフ全員で知恵をしぼり、いろいろな提案を考えました。

現在、ゼミの活動として、南三陸町コミュニティ復興支援のため、子供・高齢者の創造性や自立性を高める知育玩具の開発・販売プロジェクトに参画しています。被災者の皆さんの思いもそれぞれで、私たちの考えるものが本当に皆さんを癒し、力になることができるものなのか、試行錯誤で手探りしています。長い復興への道なりに少しでも力になれるよう、今後も人の幸せのデザインを目指してがんばりたいと思います。



仮設住宅で一緒に料理をつくって交流
(左:グエンさん)



復興支援の研究活動 —アジア太平洋
学生起業家会議にて。

5 米山をテーマにした例会プログラム — 大宮シティRC —

2012年2月15日、第2770地区（埼玉県）大宮シティRCの例会で、「みんなで考えよう 米山奨学事業」をテーマとするパネルディスカッションが行われました。

通常行われる会長挨拶・幹事報告などの後、同地区米山記念奨学委員長の磯貝^{ひさかず}九十氏、同地区米山学友会会長の李成哲さん、同クラブが世話クラブをしている現役奨学生トウトウさん（ミャンマー）の3人がパネリストとして登壇。

冒頭に3人それぞれが簡単にスピーチをし、その後、司会進行役を務めたクラブ米山奨学委員長の柳澤和豊氏から「奨学生の選考基準は？」「学友会の組織構成は？」「奨学生になって変わったことは？」など、普段会員が疑問に思っていることを各パネリストへ質問し、答えていただきました。

同クラブ会長の伊藤悟氏は、「時間に限りがあり、会員との質疑応答がもう少しできればよかったが、学友会の活動や地区米山委員長の話を直接聞くことができたことは有益だったと思う。今後も継続して実施していきたい」と、手応えを語りました。



平成 24 年 3 月 23 日

ガバナー 各位

ロータリー文庫運営委員会
委員長 新藤 信之

拝 啓

仲春の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。また常々文庫へのご協力を心から感謝致しております。このたびは、下記 8 点をご紹介しますので「ガバナー月信」にご掲載下さるようお願い致します。なお今後ともご活躍とご成功を心からお祈り致しております。

敬 具

追 伸 下記ご掲載の場合は〔申込先〕もご記載下さるようお願い致します。

文 庫 通 信 (295号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約 2 万 3 千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報から

- ◎「RI 長期計画から RI 戦略計画へ！」 南園義一 2012 1p (D.2710 月信)
- ◎「RMI アンケート調査 (日本) 概要報告」 RI 2010 2p
- ◎「RI 広報に関するアンケート調査から得られた結果報告」 RI 2008 15p
- ◎「ロータリーの意味論 (6) 共通の希望、夢、願い」 久野 薫 2011 4p (D.2680 月信)
- ◎「ロータリーの意味論 (7) リーダーシップ」 久野 薫 2012 4p (D.2680 月信)
- ◎「鈴木正三の思想とロータリー」 安平和彦 2012 8p (D.2680 インターシティ・ミーティング報告書)
- ◎「CLP を考える」 田村泰三 2011 1p (D.2710 月信)
- ◎「まことのロータリアン」 大澤徳平 2011 1p (D.2640 月信)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前 10 時～午後 5 時 休館＝土・日・祝祭日



ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2560

国際ロータリー第 2560 地区 2011-12 年度ガバナー事務所

〒951-8053 新潟市中央区川端町 2-12

TEL: 025-201-7802 FAX: 025-201-7803 E-mail: ishimoto@rid2560niigata.jp

ホームページ URL <http://www.rid2560niigata.jp/>